

姫路商工会議所
2023年度 第1回 経営発達支援事業評価委員会
開催報告

1. 日時 2023年 6月19日(月) 16時00分～17時20分
2. 場所 当所3階特別会議室
3. 出席者 石田 勝則 氏(兵庫県中播磨県民センター 副センター長)
畑 豊 氏(兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学 理事 兼 副学長 兼
産学連携・研究推進機構長)
柳田 栄作 氏(姫路市 産業局 局長)
佐藤 文昭 氏(㈱日本政策金融公庫 姫路支店長兼国民生活事業統轄)
澤田 恒 氏(澤田・中上・森法律事務所 弁護士)
濱田 聡 氏(濱田聡経営会計事務所 所長・公認会計士)
合田専務理事、浅田理事・事務局長、名倉部長、橋本
4. 議事 事務局より、2022年度経営発達支援事業実績について説明した。その後、各委員から下記の意見があった。

「新型コロナウイルス感染症の影響等、特異な外部環境の中、経営発達支援事業の多くの項目で目標を達成している点を評価する」という総評を受けた。各委員からの意見については、下記のとおり。

(1) 全体として会員数が10期連続して増加していることが、経営発達支援計画を会員が高く評価していることを示していると考えられる。特に、窓口相談件数の2022年実績が目標の3倍強となっているところが高く評価できる。

ただ、惜しむらくは、事業計画策定後の2022年度の売上増加事業者数、利益率増加事業者数ともに、目標の70%、50%となっており、外部環境によるものと思えるが、原因をよく分析して改善に努めることが必要である。

(2) 地域の経済動向調査に関しては、すべての項目について100%であり、「4」の評価とする。

経済状況の分析に関しては、窓口相談件数が300%を超えている。

巡回活動件数は64%であるが、コロナの影響もある。他の2項目は100%以上であり、「4」の評価とする。

事業計画策定支援に関しては、すべての項目に関して100%以上を達成しており、「4」の評価とする。

事業計画策定後の支援に関しては、売上増加事業者数、利益率増加事業者数において、それぞれ70%、50%の達成率である。全13項目のうちこの2項目だけが達成できていないが、99%の達成率で「3」の評価が基準であるため「3」の評価とする。

需要動向調査に関しては、姫路得とくゼミナール 消費者調査は90%である。他の12項目は100%以上を達成しているが、この項目が達成されていないため、「3」の評価とする。

新たな需要の開拓に寄与する事業に関しては、全19項目のうち5項目が100%に満たないため、「3」の評価とする。

以上、総合すると全体として「3」の評価とする。

- (3) 経営状況の分析に関することについて、目標に対する実績値（達成率）は巡回活動件数が目標に未達であるが、商議所から出向く、または、相手先が来所するという手段の違いであり、そもそもの目的に係る件数は十分に達成されている。

事業計画策定後の実施支援に関することについては、売上や利益率は事業活動の結果であり、事業計画と全く関連がないとは言えないが、経済情勢などその他要因に起因するところが大きいため、自己評価を下げる必要はない。

需要動向調査に関すること、新たな需要の開拓に寄与する事業に関することについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける特異な状況下における商談会や事業の中止は、やむを得ないことであり、その代替対応として十分な実績や対応方針等が示されたので、自己評価を下げる必要はない。

以上のことから、目標を達成したものと評価します。

- (4) 売上高増加事業者数、利益率増加事業者数の目標未達成及び商談会等の中止があり、評価は「3」とするが、そのほとんどはコロナ禍

等の外部要因によるものであり、限りなく「4」に近い評価であった。

特に、行動・プロセス面においては目標を大きく上回った項目も多く、商工会議所を必要としている会員のニーズに十分応えた結果であると評価できる。コロナの取り扱いも5類に変更され、正常な経済活動が戻りつつある中ではあるが、人手不足、後継者不足等の構造的な問題も多々あり、引き続き積極的な活動を期待したい。

- (5) 目標より大幅に増加した項目がある反面、減少した項目もあり、いずれもコロナによる影響と思われるが、相対的にはよくやっていると思われる。

コロナ収束以降の支援が充実されるよう期待する。

- (6) 全体としてよくやっておられると思います。

事業計画策定後の実施支援において、売上増加事業者数、利益率増加事業者数が目標に達成していないが、目標を達成した事業者の具体的な施策の中から今後活かせる対策を活かして欲しいと思います。

現在の経済課題として、①人手不足 ②後継者難が挙げられる。これは姫路経済に限られたものではないが、事業者間の情報共有を図っていただいて、少しでも改善できることを期待します。

観光事業にさらに力を注力していただきたい。

以 上